



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月2日

上場会社名 三共生興株式会社 上場取引所 東
コード番号 8018 URL <https://www.sankyoseiko.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 井ノ上 明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 日野 尚彦 (TEL) (06)6268-5188
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,401	11.5	2,120	16.1	2,901	15.9	1,484	△25.0
2023年3月期第3四半期	13,814	14.7	1,825	30.9	2,504	27.1	1,979	1.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 5,387百万円(73.7%) 2023年3月期第3四半期 3,101百万円(85.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	36.91	—
2023年3月期第3四半期	46.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	58,144	43,451	74.2
2023年3月期	52,998	40,150	75.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 43,122百万円 2023年3月期 39,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	7.9	2,300	2.8	3,000	3.0	2,300	4.3	57.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	56,000,000株	2023年3月期	58,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	16,116,882株	2023年3月期	16,411,718株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	40,215,203株	2023年3月期3Q	42,753,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により、経済活動の正常化が一段と進み、景気は緩やかな回復傾向が見られた一方で、地政学リスクの高まりを背景とした資源価格の高騰や世界的な金融引き締め等による景気の下振れリスクが懸念されており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く繊維・アパレル業界におきましては、商業施設等への人流回復や入国制限の緩和に伴うインバウンド需要の復調などにより市場環境は回復基調で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、3ヶ年の中期経営計画「CHALLENGE NEXT 100」の最終年度を迎えるにあたり、「アジア市場」「DX推進」「全社戦略」を中心とした基本戦略を推し進め、外部環境の変化を踏まえた積極的な事業投資を行い、着実な売上拡大、企業価値向上に取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は前年同期比11.5%増の15,401百万円となり、営業利益は前年同期比16.1%増の2,120百万円、経常利益は前年同期比15.9%増の2,901百万円となりました。特別損失として商標権の減損損失を627百万円計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比25.0%減の1,484百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ファッション関連事業

英国「DAKS」、フランス「LEONARD」ブランドを軸に、国内をはじめ、中国・香港・マカオ・台湾・韓国・タイなどのアジア市場を中心として、グローバルにブランドビジネスの拡大を図っております。

国内におきましては、「DAKS」「LEONARD」を百貨店などに販売する国内グループ会社において、昨年10月、「LEONARD」の旗艦店となる表参道店をオープンし、また、プロパー販売を重視することにより、粗利率の向上に努めております。当期は、首都圏を中心とした百貨店の売上高増加など市場環境の回復にも後押しされ、「LEONARD」の店頭販売が比較的好調に推移しておりますが、一方、利益面につきましては、新規出店に向けた費用などが発生し、増収となりましたが微増益となりました。

海外におきましては、「DAKS」「LEONARD」などを展開するアジア市場において、ブランドビジネスの拡大を推し進めております。香港では、この7月に「DAKS」「LEONARD」の旗艦店をオープンいたしました。香港、マカオの直営店では、中国との往来再開に伴う旅行者の増加や台湾においても主力店舗を中心に堅調に推移し、増収となりました。また、前年度に当社グループに加わったLEONARD FASHION SAS(以下、LEONARD社)も、売上高の増加に寄与しております。利益面につきましては、国内と同様に新規出店による費用や広告宣伝費などの増加はありましたが、増収増益となっております。

なお、LEONARD社のグループ化に伴って、のれん等の償却が発生している影響もあり、ファッション関連事業全体では増収ながら減益となっております。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比20.6%増の7,686百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比1.6%減の1,723百万円となりました。

② 繊維関連事業

製品OEM事業においては、受注競争が加速する中、取引先との取り組み強化に努めており、当期はライフスタイル分野を中心とした主要得意先との取引が堅調に推移したことや、新規取引先の開拓などもあり増収となりました。生産体制においては、チャイナプラスワンとして東南アジアでの生産を拡充するなど、安定した生産体制、商品供給網を構築すべく生産背景の拡充、強化に取り組んでおります。

前年同期は、急激な円安によるコスト高などの影響を受けましたが、粗利率の改善に努めた結果、増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比6.7%増の6,858百万円、セグメント利益(営業利益)は前年同期比496.6%増の315百万円となりました。

③ 不動産関連事業

大阪の賃貸ビルをメインとして東京・横浜・神戸などの不動産に係る賃貸事業は、稼働率が安定的に推移しており、イベントホール事業の成約件数の増加や、内装工事事業の工事件数の増加などもあり、増収増益となりました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同期比8.6%増の1,750百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比16.8%増の584百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,250百万円（6.3%）減少し、18,595百万円となりました。これは、現金及び預金が1,852百万円減少した一方で、商品及び製品が783百万円増加したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて6,396百万円（19.3%）増加し、39,549百万円となりました。これは、投資有価証券が5,520百万円増加、使用権資産が171百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて364百万円（5.4%）増加し、7,059百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が367百万円増加したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,480百万円（24.1%）増加し、7,633百万円となりました。これは、繰延税金負債が1,416百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて3,300百万円（8.2%）増加し、43,451百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が3,165百万円増加、為替換算調整勘定が737百万円増加した一方で、利益剰余金が439百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日の決算発表時に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,365	12,513
受取手形及び売掛金	3,724	3,363
商品及び製品	1,443	2,227
仕掛品	0	6
原材料及び貯蔵品	6	8
未収還付法人税等	27	—
その他	279	475
貸倒引当金	△2	0
流動資産合計	19,845	18,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,498	6,447
土地	2,950	2,950
使用権資産（純額）	786	957
その他（純額）	127	791
有形固定資産合計	10,362	11,147
無形固定資産		
商標権	4,881	4,650
その他	777	853
無形固定資産合計	5,658	5,503
投資その他の資産		
投資有価証券	16,477	21,998
退職給付に係る資産	8	8
その他	663	909
貸倒引当金	△17	△17
投資その他の資産合計	17,132	22,898
固定資産合計	33,153	39,549
資産合計	52,998	58,144

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,848	2,215
短期借入金	2,820	2,820
1年内返済予定の長期借入金	98	83
リース債務	274	370
未払金	144	146
未払費用	717	517
未払法人税等	156	213
その他	635	692
流動負債合計	6,694	7,059
固定負債		
リース債務	561	650
繰延税金負債	4,253	5,670
退職給付に係る負債	310	294
長期預り金	810	791
その他	216	227
固定負債合計	6,153	7,633
負債合計	12,847	14,693
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	6,106	6,111
利益剰余金	30,747	30,308
自己株式	△6,958	△7,123
株主資本合計	32,895	32,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,384	11,550
繰延ヘッジ損益	△17	△27
為替換算調整勘定	△1,443	△705
退職給付に係る調整累計額	11	8
その他の包括利益累計額合計	6,935	10,825
非支配株主持分	319	329
純資産合計	40,150	43,451
負債純資産合計	52,998	58,144

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	13,814	15,401
売上原価	7,943	8,132
売上総利益	5,871	7,269
販売費及び一般管理費	4,046	5,148
営業利益	1,825	2,120
営業外収益		
受取利息	5	74
受取配当金	577	652
為替差益	87	63
その他	47	28
営業外収益合計	717	819
営業外費用		
支払利息	18	28
店舗等除却損	1	0
その他	19	8
営業外費用合計	38	38
経常利益	2,504	2,901
特別利益		
助成金収入	34	—
特別利益合計	34	—
特別損失		
減損損失	—	※ 627
特別損失合計	—	627
税金等調整前四半期純利益	2,538	2,273
法人税、住民税及び事業税	414	635
法人税等調整額	130	140
法人税等合計	544	775
四半期純利益	1,993	1,498
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,979	1,484

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,993	1,498
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,227	3,165
繰延ヘッジ損益	△116	△10
為替換算調整勘定	△0	737
退職給付に係る調整額	△3	△3
その他の包括利益合計	1,107	3,889
四半期包括利益	3,101	5,387
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,087	5,374
非支配株主に係る四半期包括利益	13	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,749,200株の取得を行っております。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,068百万円増加しております。

また、当社は、2023年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2023年6月8日付で、自己株式2,000,000株の消却を実施しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ884百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が30,308百万円、自己株式が7,123百万円となっております。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

用途	種類	場所	減損損失 (百万円)
事業用資産	商標権	ロンドン	627
計			627

当社グループは、事業別を基本とし、賃貸用資産及び遊休資産等については、それぞれの物件ごとにグルーピングを行っております。

商標権については、英国の連結子会社であるDAKS SIMPSON LIMITEDにおいて、英国国債金利の上昇に伴う割引率の上昇を反映し、今後の事業計画に基づき将来の回収可能価額を測定した結果、回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。

なお、回収可能価額は事業用資産においては、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを12.2%～18.3%の割引率で割り引いて算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	6,374	5,943	1,497	13,814	—	13,814
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	484	114	599	△599	—
計	6,374	6,427	1,611	14,414	△599	13,814
セグメント利益	1,752	52	500	2,306	△480	1,825

(注) 1. セグメント利益の調整額△480百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△429百万円及びセグメント間取引消去等△50百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「ファッション関連事業」において、当社はLEONARD FASHION SASの全株式を取得し、同社及びその子会社6社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては414百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	7,681	6,097	1,622	15,401	—	15,401
セグメント間の内部売 上高又は振替高	4	761	128	894	△894	—
計	7,686	6,858	1,750	16,295	△894	15,401
セグメント利益	1,723	315	584	2,623	△503	2,120

(注) 1. セグメント利益の調整額△503百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△420百万円及びセグメント間取引消去等△83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ファッション 関連事業	繊維 関連事業	不動産 関連事業		
減損損失	627	—	—	—	627

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2024年1月22日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議しました。

1. 投資有価証券売却の理由

保有株式の見直しによる財務体質の強化及び資本効率の向上を図るため

2. 投資有価証券売却の内容

- (1) 売却する投資有価証券の内容 1 銘柄
- (2) 投資有価証券の売却実施日 2024年2月～3月(予定)
- (3) 投資有価証券売却益の額 800百万円(予定)